

報 告 書

令和5年3月2日、東部学校給食センターが調理した「フルーツ白玉」に危険異物に分類する金属くずが混入し、給食の一部を中止した事案につきまして、下記のとおり報告します。

時系列について

- 12:42 城北畑小から5年生のフルーツ白玉を配膳したところ、長さ約6ミリの金属片1片を発見したと東部学校給食センターへ連絡がある。
- 12:45 東部学校給食センターから異物混入対応マニュアルに基づき、教育委員会へ対象の学校園10校6園(1, 822食)にフルーツ白玉を喫食しないよう連絡を依頼。
- 12:55 連絡終了。この時、連絡先一覧表(別紙)を手分けし、小学校には幼稚園にも異物混入、一部喫食中止の旨伝えるよう依頼したところ、連絡表に「たき幼稚園」との記載であったため、たきこども園への連絡が欠落。岡野小学校6年生では、配膳後に発見したのが1片、喫食中に口中内の違和で1片、長さ約6ミリと9ミリの2片発見。口中に含んだ児童には、けがはありませんでした。どの学校園も給食の時間が始まっていたことから、一部喫食中止は6校、喫食が終了していたのは4校6園でした。

健康被害について

医師に見解を求めたところ、口中に含んだ場合、違和に気付くと思われる。喫食

した場合でも約12時間で排便される。腹痛がある場合は、速やかな受診が必要。
現在に至るまで、健康被害の報告はありません。

原因について

担当調理員1名が、フルーツ白玉の食材である桃の缶詰を開封する際、10缶の内1缶だけ電動式缶切機と缶詰がうまくかみ合わず、1回の動作で開封できなかったため、複数回缶切機を作動させて開封した際、金属くずが発生し、そのことに気付かず調理に使用したことが原因です。

非常時における連絡体制の課題と対応

緊急連絡において、異物混入対応マニュアル内の連絡先が現状に更新されておらず、たきこども園への連絡が欠落した。マニュアルの徹底と定期的な更新を行います。

今後の対策について

袋の食材と同様に、1度の作動で開封しきるようにし、円滑に開封できなかった缶詰については、調理に使用しないようにすることを周知徹底いたします。

また、学校との危機管理を醸成するため、学校園と訓練を実施します。

東部学校給食センター

所長 石田 哲也